NS-9320WRMS
取扱説明書

クッチ で ライト
Touch de Light

モニターから 30cm 以内と、実際の設置場所の両方で、カメラ映像が正しく表示されることをご確認のうえ、設置作業を行って下さい。

Ver.20260310

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。P2･P3 の内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

絵表示について

警告	この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。	禁止	してはいけない内容です
注意	ここの注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。	実行	実行しなければならない内容です

警告

禁止

■電源ケーブルを束ねて使用しない
火災、感電の原因になります。

■分解・改造・修理はしない
火災、感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない
(発熱、発火、発煙、異臭、異音がする) 火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼下さい。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 以下での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴ったら本体や AC アダプタに触れない
感電の原因になります。

■AC アダプタ、コードなどを破損しない
(傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど) 傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。電源プラグや AC アダプタ、コードなどの修理は販売店にご依頼下さい。

■水をかけたり、ぬらしたりしない
火災、感電、けがの原因になります。

■AC アダプタ、コードに水をかけたりしない
感電の原因になります。ぬれた場合は、すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて販売店にご相談下さい。

■医療機器の近くで使用しない
医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

■低温・高温・高湿度の場所に設置しない
40℃以上の高温または高湿度、 0 ℃以下の低温 (NVR(モニター)※以下モニターと記します。)、-1 0 ℃以下の低温 (カメラ) の場所に設置しないで下さい。動作不安定や故障の原因となります。

注意

実行

◇機器の重量などを満たす強度で設置する・・・・・落下などにより破損やけがの原因となります。
◇取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る・・・感電の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

実行

◇ 異物が入ったときは使用を中止する
火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグまたは AC アダプタを抜き、販売店へご相談下さい。
◇ 落としたり、破損した場合は使用を中止する
そのまま使用すると、火災や感電の原因となるおそれがあります。速やかに電源プラグまたは AC アダプタを抜き、販売店へ修理をご依頼下さい。
◇ 電源プラグ・AC アダプタは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となるおそれがあります。
◇ 100V コンセントを単独で使用する
100V 以外のコンセントや消費電力の大きい家電製品などと同一のコンセントでのご使用はおやめ下さい。映像が映らなかったり、故障の原因になります。
◇ 電源プラグ・AC アダプタのほこりは定期的に取り除く
ほこりが付着したまま使用すると、湿気などにより絶縁不良が起こり、火災や感電の原因となるおそれがあります。必ず電源プラグまたは AC アダプタを抜き、乾いた布で拭いて下さい。

⚠ 注意

禁止

■不安定な場所や振動の多い場所には設置しない
(ぐらつき、傾きのある場所) 落下などにより破損やけがの原因になります。
■湿気の多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない
(風呂場、台所や水まわり) 結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露 (水滴) が発生しやすくなります。
■高温になる場所に設置しない
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど) 機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。
■ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない
コードが溶けて火災、感電の原因になります。
■埃・油の多い場所に設置しない
火災、感電の原因になります。
■機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない
落下物などにより破損やけがの原因となります。
■コードを引っ張らない
電源プラグや AC アダプタを抜くときはコードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
■付属やオプションのコード以外の電源コードを使用したり、余った電源コードで延長しない
映像が映らなくなったり、火災・感電の原因となります。
■電子レンジの近くで使用しない
無線通信への電磁妨害が発生します。
■心臓ペースメーカの近くで使用しない
ペースメーカの動作に影響を与える場合があります。

もくじ

ページ
2-3 安全上のご注意
5 はじめに
6 夏場夜間のセンサー反応範囲について
7 センサー反応範囲について
8-13 必ずお読み下さい
14-15 よくある症状
16 設置環境警告
16 パッケージ内容
17 必要に応じて別途ご準備下さい (同梱品ではありません。)
17 別売オプション品 (同梱品ではありません。)
18 microSD カード / ソリッド・ステート・ドライブ (以下 SSD) 取付についての注意事項
19 カメラについて
20-21 モニターについて
22 モニター操作について・パスワードについて
23 モニター画面 (アイコン) について
24 メインメニュー
24-31 システム設定
25 ・一般設定 (日時・パスワードリセット)
26-27 ・ネットワーク＆P2P
28 ・ワイヤレスチャンネル
29 ・工場出荷時に戻す
30 ・ストレージ (SSD/microSD カードのフォーマット)
31 ・ファームウエア更新 (アップデート)
32-35 カメラとディスプレイ
32 ・カメラ設定
33 ・ディスプレイ (シーケンシャル、画面分割)
33-34 ・ペアリングとリピーター (P34：リピーター)
35 ・フリッカー
36-37 記憶とバックアップ
36 ・スケジュール録画
37 ・オーディオ OnOff
37 **・バックアップ**
38-39 モーション検知設定
40-41 アラート設定
42-43 ライト設定
44-45 再生・再生中のアイコンについて
46 **カメラの追加 (ペアリング設定) について**
47-48 設置場所での電波確認を行います
49 動作確認後に設置を行います
50-57 スマートフォンのアプリ設定
58 ～ 仕様書、保証書

※本書の全ての画像、イラスト、数字等すべてイメージです。ご了承下さい。

はじめに

このたびは、ワイヤレスカメラセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管して下さい。

【ご注意下さい】

◆カメラを増設される場合

・設置前に 30cm 以内で必ずペアリングを行い、映像、録画、電波状況をご確認下さい。
・カメラ台数に反比例して録画保存時間は減少します。
　→カメラ 1 台の接続とカメラ 4 台の接続では録画保存時間が約 1/4 になります。
・本製品はワイヤレスで通信をおこなっているため、ワイヤレスの特性上、カメラ台数が増えるほど個々のカメラの表示フレーム数が減少します。

◆ワイヤレス電波について

・電波の最大到達距離は、オープン (障害物がない場合) で 200m、障害物 (金属製のドア、鉄骨、土壁など) のない木造建物の場合で約 10 ～ 20mです。設置時映像が映っても、時間帯や環境変化によりカメラ周辺の電波環境が変化した場合は、電波到達距離が短くなりカメラ映像が映らなくなる場合もあります。この場合は、カメラの位置を変更するかオプションのカメラアンテナ用 3m ケーブルを使用して電波環境が良くなる経路をお試し下さい。

・電子レンジなど高周波を発信する機器や、まれに WiFi 通信機器との電波干渉がおこる場合があります。その場合は、原因となる機器から離して設置して下さい。

・夜間の暗視映像は、夜間ノイズの影響で画質が低下します。また電波干渉により電波が弱くなります。

◆人感 (熱感) センサーについて

・人感 (熱感) センサーの感知距離は、2 ～ 5m です。人感 (熱感) センサーはセンサーの特性上、カメラの周囲温度 (外気温)、天候により感度が変わります。(夏季や雨天の場合は感度が鈍くなります。) 夜間や夏季や雨天の際に、人感 (熱感) センサーが反応しにくい場合は、録画モードを連続録画に変更されることをおすすめします。

・車の通過のほか、カメラ設置付近の草木の揺れ、大気の温度変化、隙間風などにも反応します。

◆赤外線照射器について

・本製品は夜間の暗視撮影を可能とするため、カメラ表面に赤外線照射器を搭載しています。赤外線 LED の寿命は約 6,000 時間です。

・夜間の暗視映像が全体的に白くなったり、モニター中央部分に白いリング状のものが映りこむ場合は、設置個所の照度が不足しているか、赤外線の到達距離内に反射物がない場合が考えられます。

・カメラに近接した反射物 (壁面、手すりなど) がある場合は、撮影箇所が暗くなるか、全体的に白っぽくなりますので、カメラの設置場所を変更して下さい。

・夜間モニター内に白い糸状のものが映る場合がありますが、照射された赤外線が空気中の塵などの浮遊物に反射している現象です。

◆設置について

・カメラを水平方向より上に向けないで下さい。

※注意※　事前に停電が分っている場合や雷が近づいている時は、必ず電源を切り、復旧するまで電源を入れないで下さい。工事をご依頼される場合は、ご使用者様が電源部分を操作できるように電源部分を必ずご確認下さい。

カメラ設置前のご確認について

設置を行う前に、以下の手順でカメラの動作確認をお願いいたします。

1. 室内での確認
　モニターとカメラの距離を 30cm 以内 にして、すべてのカメラの映像が正常に映るかご確認下さい。

2. 設置場所での確認
　実際の設置予定場所にて、映像や録画が正常に動作するかを必ずご確認下さい。※カメラ間は 5m 以上必要です。

3. 電波強度の確認
　設置予定場所での電波強度をご確認下さい。(参照：P47)※夜間電波強度が下がる場合があります。

4. 設置の実施
　映像および録画の動作に問題がないことを確認できましたら、設置を行って下さい。(参照：P47 ～ P49)

⚠ ご注意
動作確認が完了するまでは、設置をお待ちいただけますようお願いいたします。
また、停電時などに困らないよう、カメラの電源を抜き差しできる位置を把握して設置いただけますと安心です。

夏場夜間のセンサー反応範囲について

夏場は外気温と人間の体温の差が少ないため、人感 (熱感) センサーが反応しにくくなります。
センサーライトを点灯させたり、熱検知録画をする場合は、なるべく低い位置 (2m ～ 2.3m 位) に設置し、センサーが反応する方向 (左右)、角度 (傾き) で設置をして下さい。
３m位の高さに設置されたい場合は、感度を「最高」に設定してご使用下さい。
この場合、冬場の熱検知センサーが反応しやすくなるため、方向、傾き加減を調整していただくか、
センサー部分を防水テープ (市販) で塞いでお試し下さい。
人感 (熱感) センサーの感知距離は、2 ～ 5m です。センサーの特性上、カメラの周囲温度(外気温)、天候により感知距離が変わります。
また、上記の通り夏季や雨天の場合は感知距離が 1 ～ 3m と短くなります。夏季や雨天の際に、上記の設定でもセンサーが反応しにくい場合は、録画モードを連続録画に変更してご使用下さい。
車の通過のほか、カメラ設置付近の草木の揺れ、大気の温度変化、隙間風などにも反応する場合があります。

センサー反応範囲について

 カメラに対して 横方向に横切る	 センサー反応範囲	 モニター映像
 カメラに対して 正面から近寄る	 センサー反応範囲	 モニター映像
 カメラに対して 斜めに近寄る	 センサー反応範囲	 モニター映像

できるだけカメラのセンサーをまたぐように、カメラの位置を調整して下さい。
※位置によっては、録画開始までのタイムラグにより録画した時には、被写体が映っていない場合があります。
夜間は人検知、感度「最高」、連続録画等をお勧めします。

必ずお読み下さい

工場出荷時のパスワードは「000000」（ゼロ 6 個）に設定されています。
防犯のため、初回使用時にパスワードを変更されることをおすすめします。

設定画面 (右図) を表示するには以下の通り進んで下さい。(参照：P25)
メインメニュー ＞ システム設定
＞ 一般設定 ＞ パスワードの設定

※パスワードをお忘れの場合は有償修理になります。パスワードは大切に保管して下さい。

注意事項・免責事項

録画の保証について
　本製品は監視・防犯をはじめさまざまな映像を録画することを目的としていますが、すべての映像を確実に監視・録画できるものではありません。
　機器の不具合等により映像が録画されなかった場合、弊社および販売店は一切責任を負いません。

法的効力について
　本製品の映像は事故やトラブルの検証の補助として利用できますが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。

プライバシーへの配慮
　本製品で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシーを侵害する可能性があります。映像を活用する際は十分ご注意下さい。プライバシーに関するトラブルについて、弊社は責任を負いません。

記録媒体について
　SSD や microSD カードは振動・衝撃、電源の ON/OFF や停電時の突入電流などにより耐久性が低く、永久に使用できるものではありません。長期使用により書き込みエラーが発生しやすくなります。
　大切なデータの破損や損失を防ぐため、周辺温度を適温に保ち、こまめなバックアップ、定期的なフォーマット、記録媒体の交換を推奨します。※microSD カードは、2 枚を交互に使用されることをおすすめします。

安全・防犯の補助について
　本製品は介護や犯罪防止の補助として使用できますが、安全を保証するものではありません。
　使用中に発生した事故や損害について、弊社は責任を負いません。

通信環境について
　本製品は無線通信を利用しているため、混信や電波干渉により映像が映らない、録画されないことがあります。これによる事故や損害についても責任を負いません。

仕様・外観の変更について
　本製品は改良のため、仕様や外観を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

有料アプリサービスについて
　スマートフォンアプリ「MiSmartCamera」「piyokame connect」の有料サービス利用によりお客様または第三者に損害が発生した場合、弊社の故意または重大な過失がない限り、責任を負いません。

画像・イラストについて
　本書 (取扱説明書) の画像やイラストは、実際の製品イメージであり、実物と異なる場合があります。

必ずお読み下さい

ワイヤレス電波について

◇電波の届く距離

・障害物がない場所では、最大で約 150m となっています。

・障害物 (金属製のドア、鉄骨、土壁、ユニットバスなど) の無い木造建物では、約 10 ～ 20m です。

※設置時に映像が映っていても、その後カメラ周辺の電波環境が変わると映らなくなる場合があります。そんなときは、カメラの位置を変えるか、リピーター機能 (親機 1 台に対し子機 1 台をおすすめ) を使って電波環境を改善して下さい。

※リピーター機能を使用される場合、セット品と同じカメラをご使用下さい。

◇電波に影響する機器

・電子レンジや Wi-Fi 機器など、高周波を発する機器の近くでは、映像や音声が途切れることがあります。これらの機器から 2 ～ 3m 以上離して設置して下さい。

◇夜間の暗視映像は、暗視ノイズの影響で画質が低下します。

◇設置環境のご注意

・カメラとモニターの間に、金属製のドアや鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、土壁、金属線入りガラス、断熱材などがあると、電波が届きにくい、もしくは遮断される可能性があります。(夜間時・雨天時は、電波が弱くなります。)

・電波の届く距離は、設置環境や周囲の状況によって変わります。

◇周波数帯について

・本製品は 2.4GHz の電波を使っています。この周波数は電子レンジや無線 LAN 機器など多くの機器で使われているため、干渉で映像や音声に影響が出る場合があります。

・設置の際は、周囲の機器との距離にご注意下さい。

・映像は、気温や天候などの影響を受けることがあります。

◇設定時のご注意

・電波の状況によって、設定が反映されないことがあります。その場合は、カメラとモニターを近づけて設定して下さい。

無線に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

電波最大到達距離

電波最大到達距離の見通し150m は、周囲に電波の障害物や電磁波ノイズが少ない屋外における見通し環境での実測結果です。木造の建物での電波到達距離 10 ～ 20m ほどですが、カメラ (送信機) とモニターの間に障害物 (金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、土壁、金属線入りのガラス、断熱材、ユニットバス) があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離は短くなる場合があります。電波の到達距離は使用環境・設置環境により異なります。

その他のご注意

本製品は 2.4GHz(ギガヘルツ) の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器 (電子レンジ、無線 LAN 機器など) が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意して下さい。

●無線 LAN 機器 (WiFi ルーター、AV 機器、WiFi を使用した PC など) を使用している環境で本機を使うと、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります (これらの無線機器は電源を入れた状態で電波を発信しています)。

●無線機器の映像信号は設置環境や天候などに影響を受ける場合があります。

ネットワークに接続しない場合、1 カ月に 1 度時刻合わせをおすすめします。

必ずお読み下さい

カメラを増設される場合

○カメラの増設に伴い、録画保存時間はカメラ台数に反比例して短くなります。
　例：カメラ 1 台の録画時間を基準とした場合、4 台接続時は約 1/4 となります。
○本製品はワイヤレス通信を使用しているため、カメラ台数が増えるほど通信負荷が増し、各カメラの映像フレーム数が減少する場合があります。
○リピーターを使用しないカメラは、他のカメラと 5m 以上離して設置して下さい。
○設置前に、必ず本体 (モニター) とカメラは、30cm 以内の距離でペアリングを行い、映像・録画・電波状況を確認してから設置して下さい。※設置環境によっては電波が届かず、映像が映らない場合があります。モニターを複数使用される場合は、それぞれ 3m 以上離して電波が干渉しないように設置して下さい。
○本機は最大 8 台までペアリングが可能ですが、5 台以上接続した場合、メニュー操作や録画再生の動作遅延、映像のコマ飛び等が発生する場合があります。
○リピーター機能は、親機に対してカメラ (子機)1 台まで可能です。※4 組までリピーターが可能です。

リピーター機能を使用される場合

◆リピーター機能を使用される場合、モニター・リピーター用の親機カメラ・子機カメラを**お手元 (30cm 以内)** で電源を入れ、リピーター設定を行ってから設置して下さい。(参照：P34)
→離れていたり電波が途切れた状態でのリピーター設定はできません。(未接続になる可能性が高いです。)

【例】

❶1 リピーター x2 組以上の場合：同じ組は隣接していても問題ないですが、別の組同士は必ず 5m 以上間隔を開けて下さい。

❷CH1 カメラ (親 A) から CH2 カメラ (子 1) にリピートし、CH1 カメラ (親 A) から CH3 カメラ (子 2) もリピートする
→リピートはできません。

❸CH1 カメラ (親 A) から CH2 カメラ (子 1) にリピートし、 さらに CH3 カメラ (孫 1) を CH2 の後にリピートする
→リピートはできません。

こちらの製品は無線接続のみになります

※インターネットで遠隔監視する場合は、必ず固定回線 (光) をご使用下さい。
ホームルーター等モバイル回線はご使用いただけません。

※木造建築以外の建物の場合、電波が届く距離は極端に短くなります。
木造建築とは、障害物 (金属製のドア、鉄骨、土壁、ユニットバスなど) の無い建物

必ずお読み下さい

赤外線照射器について

【赤外線照射器について】

◆本製品は夜間の暗視撮影を可能とするため、カメラ表面に赤外線照射器を搭載しています。赤外線 LED の寿命は、約 6,000 時間です。(環境によって大きく前後します。)

◆夜間の暗視映像が全体的に白くなったり、モニター中央部分に白いリング状のものが映りこむ場合は、設置個所の照度が不足しているか、赤外線の到達距離内に反射物がない場合が考えられます。

◆カメラに近接した反射物 (壁面、手すりなど) がある場合は、撮影箇所が暗くなるか、全体的に白っぽくなりますので、カメラの設置場所を変更して下さい。

◆夜間モニター内に白い糸状のものが映る場合がありますが、照射された赤外線が空気中の塵などの浮遊物に反射している現象です。

◆夜間設置場所の明るさによっては、暗視ノイズが入る場合があり昼間の映像に比べてぼやけます。

以下のような症状は故障ではありません

【夜間撮影について】

◦暗所撮影の赤外線機能は若干の個体差があります。

◦夜間撮影時は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。

【アンテナの向きの説明】

◦設置場所の電波の状態が不安定な場合は、機器の設置位置を移動したり、カメラとモニターのアンテナの向きを揃える等、アンテナを調整する方法をお試し下さい。

・カメラとモニターの直線上に壁が少ないとつながりやすいです。

・モニターアンテナとカメラ用アンテナの向きを同じにすると改善される場合があります。

【注意】

◦無線機器の映像信号は設置環境や気温・天候などに影響を受ける場合があります。

【再生上の注意】

◦カメラの電波が悪い場合、録画映像に不具合を生じたりすることがあります。映像が乱れる場合や、音声が途切れる場合がありますが、機器異常ではありません。

◦動かなくなったりする場合 (再生映像のフリーズ現象)

・別画面に切り換えられない場合は、AC アダプタの抜き差しをして下さい。

◦センサーライトが光っている時はカラーで映るが、それ以外は白黒の映像になっている。

・暗所での暗視撮影時は白黒映像での撮影となります。ある程度の照度がある場合やセンサーライトが光っている時はカラーで映すことができますが通常は白黒映像となります。

お手入れ方法

レンズを水以外のものを使用して拭かないで下さい。くもりの原因になります。ブロアーだけで表面のホコリやゴミを取り除いたあと、専用のクロス (汚れなどがない清潔なもの) で優しく拭いて下さい。
カメラ周りのクモの巣なども取り除いて下さい。

必ずお読み下さい

SSD、microSD カード、USB メモリについて

一般的に SSD、microSD カードは消耗品として位置づけされており、長時間の保存としては十分な媒体ではありません。必要なデータ (証拠映像など) は他の記憶媒体にもバックアップを取っていただくことをおすすめいたします。また、録画データは、こまめに再生してご確認いただきますようお願い申し上げます。※SSD：約 2 年、microSD カード：約 1 年を目安に交換をおすすめします。
万一故障や不具合が発生し、SSD のデータ損失や機器損失があった場合、その補償について弊社では責任を負いかねます。予めご了承下さい。SSD(オプション品)：1TB・2TB、microSD カード (市販品)：256GB まで

【注意事項】
◆振動する場所や不安定な場所では使用しないで下さい。
◆熱源となる機器の上に置かない。急激な温度変化 (毎時 10℃以上の変化) のある場所では使用しないで下さい。
→結露 (くもり) の原因となります。
◆録画、再生、メニュー操作中、バックアップ、アップグレードなど、データ取得、通信中などの動作中に電源を抜かないで下さい。(参照：P18)
◆本機を移動するときは、録画を停止し電源を安全な方法で切って下さい。(参照：P18)
◆本機を再接続するときは、SSD、microSD カードの故障を防ぐためアダプタのプラグを抜いてから 1 分以上待ち、もう一度挿して下さい。
◆microSD カードを交換される際は、電源を安全な方法 (参照：P18) で切り、静電気や湿気に充分注意して交換して下さい。※SSD は、お客様ご自身での取り付け、取り外しはできません。
◆何らかの原因で SSD、microSD カードが故障した場合は、データの修復はできません。
本製品または接続製品の保存データの棄損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。
SSD、microSD カードは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用下さい。
◆バックアップ用、アップデート用の USB メモリは、必要な時だけ接続して下さい。接続したままにしないようご注意下さい。
◆SSD・microSD カードをご使用の場合、SSD の録画が優先されます。
※本書の M カード、TF カード、メモリカードは、全て microSD カードを指します。

録画時間の目安

容量	カメラ 1 台	カメラ 2 台
32GB	53 時間	26 時間
64GB	106 時間	53 時間
128GB	213 時間	106 時間
256GB	426 時間	213 時間
1TB	1,706 時間	853 時間
2TB	3,413 時間	1,706 時間

※小数点以下切り捨て

※表記録画時間は、連続録画で上書き設定の場合の上書きまでの録画保存時間です。(本製品は、**上書きのみ**です。)
※撮影対象や環境条件によって録画時間は大幅に変動します。(常に動きのある映像を録画する場合は録画保存時間が大幅に短縮されます)
※24 時間録画を行う場合、microSD カードでの録画ですと録画データの日数が短くなります。より長期間データを残したい場合、SSD での録画を推奨いたします。
※本製品のカメラビデオ解像度は、2304x1296p になります。

インターネット・スマートフォンでの注意

アプリでのライブ映像閲覧や録画映像再生時、NVR に負荷がかかり読み込みに時間がかかります。
読み込みに時間がかかる場合は接続カメラ台数を一時的に少なくするなどお試し下さい。
本機は、IPV4 対応です。(IPV6 不可)

必ずお読み下さい

本製品の設置環境からの影響について

ご使用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様 (耐久性) の限度を超える場合があります。
設置の際に配慮をお願いします。

・直射日光などの影響
・夏の高温などによる影響
・降雨、強風、突風、台風などによる影響
・冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
・塵、ほこり、土、砂などによる影響
・海風などによる塩害の影響
・虫や動物、またそれらが出す有機物 (糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液) による影響
・熱源などによる影響
・調理場、工場、特殊環境による液体や気体などによる影響
・その他機器に有害な影響を及ぼすもの

モニターの使用環境

屋外での使用　　過酷な環境　　長期に亘る放置

プライバシー、肖像権について

本製品の設置や使用は、ご使用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮の上行って下さい。

その他

本製品は、電波法に基づき工事設計認証を受けていますので、以下の行為を絶対におこなわないようにお願いします。

・分解や改造
・本製品に貼り付けてあるラベルをはがしたり、改ざんなどの行為
・日本国外での使用。

本製品の無線技術について

当製品は 2.4GHz 帯を使用した「高度化小電力データ通信システム」で電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定められた [技適マーク] を取得しております。

工事設計認証番号　NS-020WR カメラ　R 210-258353

NS-93WRM モニター　R 210-259415

よくある症状

■センサーライトの点灯について　■ライトが光らない・反応しないという症状
(メインメニュー　＞　ライト設定オン時)

【モーション検知設定の感度を「高 / 中 / 低」いずれかに設定した場合】
◇人感センサー (熱検知)＋ 人検知 (人型含む)
→両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)
◇人感センサー (熱検知)＋モーション (動体検知)
→両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)

【モーション検知設定の感度を「最高」に設定した場合】
◇人感センサー (熱検知)＋ 人検知 (人型含む)
→どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。
◇人感センサー (熱検知)＋モーション (動体検知)
→どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。

■ペアリングできない・映像がうつらない
モニターとカメラの距離を 30cm 以内に近づけて
「メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　ペアリング＆リピーター」のペアリング設定画面を開き、カメラのペアボタンを音が鳴るまで長押しして下さい。
それでも映像が出ない場合は、カメラ電源の抜き差し、アンテナの接続をご確認下さい。
それでも映らない場合は、再度ペアリングを行って下さい。
またモニターのアンテナが完全に立っているかを確認して下さい。アンテナが立っていない状態の場合、電波感度が大幅に減少します。リピーター機能を使用しないカメラを複数台設置する場合カメラとカメラを 5m 以上離して設置して下さい。電波の届きにくい環境の場合は NS-AD73(別売り) でアンテナの位置を変更して下さい。また NVR は机の上や棚の上など少し高い位置に設置して下さい。

■再生時の映像の不具合、録画・再生ができない
ワイヤレスカメラの特性上、電波状況により映像品質が大幅に変動します。
電波状況が悪いとライブ映像や録画映像が静止したり、再生時のスロー・早送りでの映像 / 時間の飛び・フリーズ、誤検知、警報音の遅延などが発生する可能性があります。
カメラの電波状況を確認するかリピーター設定をして電波を安定させて下さい。

■録画・再生ができない
この製品は常に上書き録画をします。万一録画ができない場合は、録画媒体の SSD や microSD カードのフォーマットをお試し下さい。
※フォーマットをすると全録画データが消去されます。ご了承下さい。
認識されずフォーマットも不可能な場合は故障が考えられます。ご購入店にご相談下さい。

■映像が白黒になる。カメラが赤くなる。
カメラが暗さを検知すると、赤外線を照射します。そのため白黒映像になり、レンズの近くの赤外線 LED が赤く光って見えることがありますが故障ではありません。

■1 階、2 階、3 階に設置しているが、映りが悪い。
階をまたぐ設置はおすすめしておりません。やむを得ず 1F・2F・3F など、高低差のある階にカメラを設置した場合、電波状態が著しく悪化する恐れがあります。オプションのカメラアンテナ用 3m ケーブル NS-AD73 を下に垂らして使用するなど、電波を安定させるための対策を行って下さい。

よくある症状

■再起動する
自動で不定期に再起動されます。ウォッチドッグ (システム異常時に自動で再起動する機能) が働いています。故障ではありません。頻繁にある場合は、SSD または、microSD カードが故障している可能性があります。電源スイッチをオフにしてから、microSD カードを取り出します。
※SSD は修理にお出し下さい。
その後電源スイッチをオンにし、映像が表示されるかの確認をします。映像が表示された場合、microSD カードを新品 (256GB まで) と交換してご使用下さい。
※新しい microSD カードは、本機でのフォーマット (参照：P30) が必要です。

■フリーズして操作できない
タップ、またはマウス操作をしても反応が無い場合は、本体が自動で再起動する可能性があります。そのまま数分間お待ち下さい。それでも反応が無い場合は、カメラの電源を外し、録画を止めて下さい。本体の電源スイッチをオフにして、強制的にリセットをします。
30 秒後に再び本体の電源スイッチをオンにして下さい。

■音声にノイズがはいる、ハウリングする (モニター音量の調整)
環境によっては、モニター音量が大きいと音割れします。また、モニターとカメラの距離が近すぎるとハウリングします。環境に応じてモニター上部にある音量ボタンを押して音量を調整して下さい。
単画面時のスピーカーアイコンは、音量のオンオフが可能です。(音量 0 の場合、音はでません)
また、カメラスピーカーよりサイレンと音声が出ます。

■電波信号が途切れる
モニターから HDMI 出力へ変更時や工場出荷時に戻す、チャンネル移動、電源の再起動により電波信号が途切れることがあります。この時、しばらく待って電波が接続されることを待つか、最悪、繋がらない場合は、カメラの電源の抜き差し、または再ペアリングを行って下さい。

■アンテナが 3 本～ 5 本なのに映像がでない
分割画面時、映したい画面上で二回タップして下さい。単画面に変わり、映像が表示されます。
もう一度二回タップして分割画面に戻します。

■映像に気泡がみえる
液晶画面に貼られている保護シートを剥がしてご使用下さい。

■動体検知後画面が真っ暗になる
スクリーンセーバーを設定中の動体検知後は、検知後 15 秒表示し、その後はスクリーンセーバーに戻ります。
スクリーンセーバーを解除する場合は、モニター上部のボタンを押して下さい。

※全ての AC アダプタは防水防滴仕様ではありません。AC アダプタを屋外で使用しないで下さい。

< 定期点検のお願い >

SSD(ソリッド・ステート・ドライブ) や microSD カードは消耗品です。

SSD は約 2 年を目安に、microSD カードは約 1 年を目安に定期的に、修理、交換することをお勧めします。

◎新しい SSD および microSD カードのフォーマットは本機モニターで行って下さい。

※SSD 修理の前にあらかじめ必要なデータを USB メモリでバックアップして下さい。

設定中にログイン画面が表示された場合は、ログインを行って下さい。

設置環境警告

1. モニターは、液体のかからない場所で使用して下さい。
2. 通気口を塞がないように、通気性のある環境で使用して下さい。
3. 標準動作温度で使用して下さい。
4. ご使用にあたって、周辺のプライバシーに配慮しご使用下さい。

パッケージ内容

弊社製品をお選びいただきありがとうございます。
箱の中身をご確認下さい。

※バレットカメラ本体のみ屋外設置できます。
※イラストはイメージです。
※仕様は予告なく変更します。ご了承下さい。

・10.1 インチワイヤレスモニター
・モニター専用 DC5V/2A　AC アダプタ x1

モニター
NS-93WRM 用

ケーブル長：約 1.8m
(突起部含む)

カメラとモニターの AC アダプタを間違えないようにご注意下さい。故障の原因になります。

・ワイヤレスカメラと専用アンテナ x1
・カメラ専用 DC12V/1A　AC アダプタ x1

カメラ
NS-020WR 用

電源ケーブル長：約 2.2m
(突起部含む)

ケーブル長：約 1.8m
(突起部含む)

・カメラ電源用延長ケーブル　ケーブル長：約 4.5m
(突起部含む)

【設置例】 カメラ電源用延長ケーブルは、通気口や日常開閉しないドア又はサッシに取り付けます。

(サッシやドアの形状により、引き込めない場合もあります。)

・ビス & アンカー
(モニター用)

※モニター、カメラとも取り付け場所の材質、強度に合ったものをご使用下さい。

・ビス & アンカー
(カメラ用)

・本書 (保証書と QR コード)

・動作確認用 LANｹｰﾌﾞﾙ(約 3m)

※設置に市販の LAN ケーブルが必要な場合は、カテゴリ 5e 以上のものをお選び下さい。

※ケーブル類の接続部分と接続部分前後 (10cm 程度) は、必ず防水処理を行って下さい。

必要に応じて別途ご準備下さい (同梱品ではありません。)

microSD カード 256GB まで (録画用)	USBﾒﾓﾘUSB2.0(32GB まで) (バックアップ用)		USB(typeA) ハブ	LANｹｰﾌﾞﾙ　ｶﾃｺﾞﾘ5e 以上 (100m 以内)
SSD と microSD カード両方の場合、SSD が優先されます。 FAT32 でフォーマットもしくは本機でフォーマットしてご使用下さい。		microSD カードで録画される場合は、microSD カードを外して Windows のパソコンに接続すると、任意のビューアソフトで映像を確認することが可能です。 (例)MAINCH02-20260113-110205.avi 保存形式：avi 30 分単位 (連続録画の場合)	マウス操作で USBﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟをする場合等に必要です。	
ドライバー	防水テープ	USB 有線マウス	HDMI ケーブル (3m 以内)	市販のモニター ※解像度注意

別モニターを使用する場合は、マウス操作になります。
本機の画面に触れないようご注意下さい。

別売オプション品 (同梱品ではありません。)

増設用カメラ
NS-020WR　(同梱品と同じです)
ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ(12V/1A) 付属

・設置前にペアリングが必要です。
・合計 8 台までペアリング可能です。

カメラアンテナ用 3m ケーブル
NS-AD73

付属品：取付ネジ、L 字金具、カメラアンテナ用ケーブル (3m)

・電波状態を改善します。
※アンテナ用ケーブルをつなぎ合わせての延長はできません。

SSD
NS-SSD1TB　1TB タイプ
NS-SSD2TB　2TB タイプ

SSD

有償にて SSD の取り付けを承っております。本作業は専門作業となるため、お客様ご自身での取り付けはできかねます。

カメラ電源ケーブル
延長 5m
NS-DC5M

・合計 4m 弱の電源ケーブルを＋5m 延長します。

※2 本以上の連結はできません。

microSD カード /SSD 取付についての注意事項

microSD カードの取付についての注意事項

microSD カード取り付け及びご使用にあたり以下にご注意下さい。

【microSD カードの取り付けについて】
・microSD カードの取り付けはお客様ご自身でお願いいたします。
1. 本体の電源 (スライドの電源スイッチ) をオフにします。
2.microSD カードを向きに注意して差し込みます。(右図をご参照下さい)
3.「カチッ」と音がしたら、正しく取り付けられています。

【microSD カードのご使用について】
・必ず本機でフォーマットしてお使い下さい。
・microSD カードは消耗品です。1 年を目安にお取替え下さい。
・microSD カードの金属部分に触れたり、衝撃や振動を与えないで下さい。
故障の原因となります。
・録画データについては弊社はどのような場合でも保証致しません。
・エラーが発生し録画ができていない場合は、本機の再起動、microSD カードの抜き差しやフォーマットを行いそれでも改善しない場合は販売店にご相談下さい。

録画中電源を切ったり、記録媒体を外さないで下さい。

ソリッド・ステート・ドライブ (以下 SSD) 取付についての注意事項

SSD 取り付け及びご使用にあたり以下にご注意下さい。

【SSD の取り付け、取り外しについて】
・お客様ご自身での取り付け、取り外しはできません。
SSD をご使用になる場合は、弊社にて有償での取り付けになります。
先ずは販売店にご相談をお願いします。

【SSD のご使用について】
・本機でのみフォーマットできます。
・SSD は消耗品です。20,000 時間を目安にお取替え下さい。
・SSD に衝撃や振動を与えないで下さい。故障の原因となります。
・録画データについては弊社はどのような場合でも保証致しません。
・SSD エラーが発生し録画ができていない場合は、本機の再起動、SSD のフォーマットを行いそれでも改善しない場合は、販売店にご相談下さい。

開けないで下さい。
故障の原因になります。

【microSD カードの取り外しについて】

microSD カードを録画中に取り外しをすると、録画データ・本機等が破損する恐れがあります。

❶録画中の場合は、録画を停止して下さい。

1. 全チャンネルを表示して下さい。
2. 録画アイコン をタップします。

※通常、録画アイコンは、黒色録画アイコン になっています。一度黒色録画アイコンをタップして赤色録画アイコン に変えてから、赤色録画アイコン をタップして下さい。

3. 全てのチャンネルの録画中のアイコン が消えたことをご確認下さい。

❷次に、モニターの電源スイッチをオフにして、取り外しを行って下さい。

【USB メモリ取り外しについて】

USB メモリをバックアップ中 (P37)、アップデート中 (P31) に取り外しをすると、録画データ、バックアップデータ、本機が故障する恐れがあります。

❶-1. バックアップの場合は、「バックアップ終了」の画面で [戻る] をタップした後に、USB メモリを外して下さい。

❶-2. アップデート中の場合は、本体が再起動します。その後画面が表示されてから USB メモリを外して下さい。

microSD カードを取り外す場合は、こちらの方法でも可能です。(参照：P30)
メインメニュー ＞ システム設定 ＞ ストレージ ＞ デバイスのフォーマット ＞ メモリーカードを選択すると、画面上に [安全に取り外す] が表示され、タップすると「TF カードをはずしますか。」と表示されます。[はい] を選択して「成功」と表示されたら [OK] をタップして取り外して下さい。

microSD カードは軽く奥に押すと「カチッ」と音がして少し出てきますので、つまんで取り外して下さい。

カメラについて

DC ジャック：
付属の AC アダプタを接続します。

A：アーム固定ネジ
B：ベース固定部
二箇所を緩めることにより、
角度や向きを変更できます。

カメラ向きの調整方法

ペアボタン
ペアリングボタン
スピーカー

モニターとカメラの電源を抜き差しする場合の注意事項

カメラの電源を入れる：①→②

カメラの電源を外す：❶→❷

モニターの電源を入れる：①→②→
電源スイッチをオンにする

本機の電源スイッチをオフにした後、
モニターの電源を外す：❶→❷

モニターについて

アンテナ
(垂直に伸ばして使用します)

microSD カード挿入口

USB2.0 ポート：有線マウス、USB メモリ (2.0) を接続します。

マウスと USB メモリ (USB2.0) を同時に使用する場合、
USB ハブをご使用下さい。
(マウス使用時、モニターの黒画面を横にスワイプさせ
ると画面がスライドできます。

HDMI 出力 (本機との同時出力不可)

外部モニターを使用される場合、フルハイビジョンのモニターをご使用下さい。
HDMI を接続すると自動で外部入力に切り替わります。HDMI 出力時は、別売の
有線マウスでの操作のみになります。画面は真黒になりタップはできません。誤
作動回避のため本体の画面には触れないようご注意下さい。
本体から音が出るため、外部モニターの音量はゼロにしてご使用下さい。

イーサネット

有線 LAN を接続します。(ルーターへ)

DC IN 5V
電源プラグ差込口

電源ランプ
オン時：緑色 LED 点灯

電源スイッチ

ON　OFF

microSD カード挿入方法

モニター表示について
単画面時　3MP(メインストリーム)
分割画面時　640x360(サブストリーム)
で表示されます。

※全てのボタンは、ライブ映像時のみ押せます。
(再生の単画面再生時は、音量ボタンのみ可)

スクリーンセーバー時に検知した場合、15 秒画面が表示され、またスクリーンセーバー状態に戻ります。ただしイベント検知録画は、検知後もポストレコーディングされます。
※スクリーンセーバーと録画時間は、検知のタイミングにより異なります。
※外部出力中は操作できません。

音量ボタン：画面上にボリュームが表示されます。 音量 音量：(最小)0 本−9 本 (最大)

再生ボタン ▷ (画面上、モニター上どちらでも可) をタップすると、カレンダー (参照：P44-P45) が表示されます。

モニター操作について

メニューは操作が無いと５分で閉じます。

全ての操作は画面に指で触れて行います。

タップ	長押し	ピンチアウト	ピンチイン	ドラッグ
W(2 回) タップ	右にスワイプ	左にスワイプ	スワイプダウン	スワイプアップ

タップするとライブ画面に移ります。設定した内容が保存されます。

タップすると前の画面に戻ります。設定した内容が保存されます。

タップすると次の画面に移ります。

タップするとオン (緑色)/ オフ (灰色) 切替ができます。

パスワードについて (参照：P25)

◇工場出荷時のパスワードは「000000」（ゼロ６個）に設定されています。

◇防犯のため、初回使用時にパスワードを変更されることをおすすめします。

◇「パスワードを入力して、モニターにアクセスします」を［はい］に設定すると、画面を操作するたびにパスワードの入力が必要になります。(図 1)

◇パスワード入力が不要な場合は、［取消］を選択して下さい。

◇本機専用のスマートフォンアプリは、パスワードの設定は不要です。ただし、UID は第三者に知られないよう、十分ご注意下さい。

◇メニュー画面の [パスワードの設定] をタップすると毎回パスワードの設定が必ず求められます。(図 2) が表示された場合は、毎回パスワードの設定を行って下さい。

(図 1)

(図 2)

パスワードをお忘れの場合は、有償での修理対応となります。
お手数ではございますが、第三者に閲覧されることのない場所へ大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

その他

HDMI 接続中にモニター画面を触らないで下さい。設定が変更される可能性があります。

モニター画面 (アイコン) について

メニューアイコン等が表示されていない場合は、画面をタップして下さい。

チャンネル名

インターネット
接続中 (緑)
待機中 (黄)
未接続 (赤)

記録媒体がありません

音声
(単画面のみ)
音量：1 ～ 9
音量：0

電波が弱いため
カメラ未接続

電波状況
最大 5 本

モニターの
年月日時間

電波の影響によりモニターとカメラそれぞれタイムラグがあります。

1,2,3,4 ～ 8
画面番号

スワイプすると、5 ～ 8CH に移動します。(各分割画面 8 分割以外可能)

カメラ個々の
年月日時間

シーケンシャル初期値は 8 秒です。
「SEQ」はシーケンシャル中です。

SEQ
分割画面⇄シーケンシャル切替
※シーケンシャル中は、単画面でも音声は出ません。

録画中 (点滅)

再生

メインメニュー

録画マーク
赤色：手動録画中
黒色：手動録画停止中

カメラ未接続

録画マーク をタップすると、
手動録画の開始／停止を操作できます。
※スケジュール録画設定中でも録画マーク をタップすると、録画は開始 / 停止します。
停止後、常時録画設定の場合、毎時 00 分 00 秒になると自動的に録画を再開。または、スケジュール録画のメニュー画面を開いて [戻る] を数回タップしてライブ画面まで戻ると常時録画を再開します。
また、各チャンネルがイベント検知した時に録画を開始します。

分割画面の画像を W タップすると単画面になります

ピンチアウトでデジタルズームをします。
ズームしたまま上下左右に移動することができます。
※デジタルズームしたまま分割画面にすると、正常に戻ります。

赤色：手動録画中
黒色：手動録画停止中
BLACK RED

長押しで音声警告できます。
(カメラから音声がでます。)
トーク時は
赤色です。

警報中は
赤色です。
押している間
カメラからブザー
音が鳴ります。

カメラ日時はアイコンの後ろに表示されています

タップでライト点灯 / 消灯

メインメニュー

このアイコンをタップします。パスワードの設定をされている場合は、ログイン後に再度タップして下さい。

ライブ画面に戻る

前の画面に戻る

メインメニュー　＞　システム設定

本製品では、一部の項目を除き「保存」を選択する操作はありません。
各項目を変更した後に または をタップすると、設定内容がそのまま反映されます。
設定内容が分からなくなった場合は、モニターを工場出荷時の状態に戻し (参照：P29)、あらためて設定していただくことをおすすめします。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　一般設定

① 日付形式：年月日 (24 時間 /12 時間)/ 月日年 (24 時間 /12 時間)/ 日月年 (24 時間 /12 時間) より選択できます。
（YYYYMMDD　MMDDYYYY　DDMMYYYY）

② 日付と時刻：日時を変更できます。数字をタップするとテンキーが表示されます。数字変更後 [OK] します。

③ タイムゾーン：GMT+9:00 でご使用下さい。

④ 言語：日本語でご使用下さい。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
x	0	OK

日付と時刻を修正した後、一般設定の画面が表示されたままの場合は、時間が進みません。[OK] を押した後は、必ず🏠または〈をタップして画面を閉じ、設定を確定して下さい。

⑤ (※HDMI 出力時のみ表示されます。) 解像度：1280x1024　1440x900　1920x1080(初期値)　推奨：ﾌﾙﾊｲﾋﾞｼﾞｮﾝﾓﾆﾀｰ

⑥ サマータイム：日本にはサマータイム制度がないため、オンでもオフでも問題ありません。

⑦ NTP(ネットワークへの時刻同期)：インターネット接続する場合はオン🟢でご使用下さい。

⑧ パスワードの設定：パスワードの変更をします。　※タップすると何かしら設定するまで前の画面に戻れません。
パスワード変更をしない場合は、タップしないようご注意下さい。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　一般設定　＞　⑧パスワードの設定　＞　パスワードのリセット

❶はい：ログイン時にパスワードを求められます。
(無操作で 5 分経つとログアウトします。)
取消：常にログイン状態になります。
(パスワード管理無し)

❷新パスワードと❸パスワードの確認に同じ新パスワードを入力し、
❹[保存] をタップします。確認画面が表示されましたら、
❺[はい] をタップして保存します。

パスワード不要の場合は、[取消] を選択して [保存] して下さい。※インターネット接続される方は、必ずパスワードを設定して下さい。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ネットワーク＆P2P

※Wi-Fi ルーターに登録する方は②無線 LAN を設定して下さい。有線 LAN の方は設定不要です。

① P2P：そのままご使用下さい。オフにするとアプリに接続できなくなります。(QR コード非表示)
　また、無線・有線共に未接続になります。

インターネットをご使用にならない場合は、安全のため P2P をオフにすることをおすすめします。

② 無線 LAN：無線 LAN を登録します。 検索 WLAN... の後 ESSID が表示されます。ご家庭の Wi-Fi を選択して下さい。(参照：P27)

③ DHCP：オンのままでご使用下さい。

④ 固定 IP：DHCP オフ時に IP アドレスを打ち込めます。(ネットワークに詳しい方向き)

⑤ ネットワーク情報：有線接続時のネットワーク情報が表示されます。

⑥ MiSmart アプリの QR コードと UID の QR コードです。
　※ご注意※　UID およびパスワードは重要な情報です。第三者に知られないよう、厳重に管理して下さい。

数値は一例です。実際とは異なります。

すでに接続済の場合、[接続解除] が表示され、タップすると接続を解除することができます。

❶接続するルーターの ESSID(上図は例です) を選択し、[接続] をタップします。
❷【図 1】が表示されます。パスワードの入力の空欄をタップし、仮想キーボードを表示します。
Wi-Fi(ルーター) のパスワードを入力後、仮想キーボードの [Enter] をタップし、[接続] をタップして閉じます。
❸接続されると状態に「接続済」と表示され、ライブ画面にはインターネットマーク が緑色で表示されます。
❹画面上に ESSID が表示されない場合、[検索] をタップします。
❺WLAN のネットワーク情報
接続後ライブ画面インターネットマークが 緑色に変わるのに数分かかる場合があります。

【図 1】

【仮想キーボード】

余談

カメラとモニター間の電波は 2.4GHz ですが、モニターと Wi-Fi ルーター間は、「2.4GHz」「5GHz」の選択が可能です。

数値は一例です。実際とは異なります。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ワイヤレスチャンネル

初期値は 14 です。カメラ映像のつながりが悪い場合、他のチャンネル (1 ～ 14) に変更して接続して下さい。
※モニターは屋内専用のため、屋内で使用する場合は CH14 以外に設定しても問題ありません。
ただし、万一屋外で使用する場合は、チャンネル設定を法令および各種規制に基づいて行う必要があります。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　工場出荷時に戻す

① モニター：

1. 切替ボタンをオン (緑色) にし、[はい] をタップします。
2.「工場出荷時に戻しますか？」と、表示されます。[はい] を選択するとモニターの再起動が始まります。
※映像が表示されるまで電源に触れずにしばらくお待ち下さい。
3. モニターのみ工場出荷時の設定に戻されました。
4. パスワードの設定を行って下さい。
5.[<] ボタンで戻って下さい。
※モニターを工場出荷時に戻した場合、カメラ関連の設定は工場出荷時の設定には戻りません。

② カメラ CH1 ～ CH8：

1. 切替ボタンをオン (緑色) にし、[はい] をタップします。(1 台～ 8 台まで選択可能です。)
2.「実行してもよろしいですか？」と、表示されます。[はい] を選択すると「再起動中 ...」再起動が始まります。
3.「再起動に成功しました。」と表示され、各カメラは工場出荷時の設定に戻されました。
4.[<] ボタンで戻って下さい。
※ペアリングおよびリピーターの設定は解除されません。万一、映像が途切れる場合がございましたら、再ペアリングを行って下さい。
※カメラ関連の設定でお困りの場合は、ここからカメラのリセットをお試し下さい。
（カメラのボタンはペアリングボタンです。）

※モニターとカメラを同時に工場出荷時の設定に戻すことはできません。
※モニター・カメラともに「再起動に成功しました」と表示された場合は、工場出荷時の状態に戻っています。

※電波が途切れている場合、リセットできません。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ストレージ　＞　デバイスのフォーマット

【SSD の場合】

本体内蔵の SSD をフォーマットします。※全てのデータが消去されます。ご注意下さい。

①●SSD の〇をタップして緑色にします。(初期)

②[デバイスフォーマット] をタップします。

③「フォーマットしますか？」と表示されますので、問題なければ [はい] をタップします。。。しばらくお待ち下さい。。。

④「成功」が表示されます。[OK] をタップして終了です。

※出荷時に SSD は、フォーマットされています。(製品型番：NS-9320WRMS 1TB、NS-9320WRMS 2TB のみ)

フォーマットとは：ストレージを使用可能な状態にする初期化作業のことで、データが保存されている場合はすべて消去され、新しいデータが保存できるまっさらな状態になります。新品のストレージを初めて使う時、既存のデータや設定を消去してクリーンな状態にする時、または、ストレージの動作不良を解消する際などにフォーマットを行います。

※※本文中で使用している「ストレージ」という用語は、microSD カードおよび SSD を意味します。あらかじめご了承下さい。

【microSD カードの場合】

【デバイスフォーマット】

本体内蔵の microSD カードをフォーマットします。※全てのデータが消去されます。ご注意下さい。

①●メモリカードの〇をタップして緑色にします。

②[デバイスフォーマット] をタップします。

③「フォーマットしますか？」と表示されますので、問題なければ [はい] をタップします。。。しばらくお待ち下さい。。。

④「成功」が表示されます。[OK] をタップして終了します。

【安全に取り外す】

microSD カードを外すとき [安全に取り外す] をタップして「成功」と表示されたら取り外し可能です。

※その後 microSD カードは認識されなくなります。再確認させる場合は、一度 microSD カードを抜き差しして下さい。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ファームウェア更新

USB からアップグレードします。
必要な場合、弊社 HP よりご案内いたします。

サーバーからアップグレードします。
必要な場合、弊社 HP よりご案内いたします。

スマートフォンのテザリング機能を使用してネットワークへ接続することも可能です。
ただし、サーバーからアップデートを行う場合は、テザリングを使用しないで下さい。

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ファームウェア更新　＞　USB アップグレード

【更新方法】

❶ モニターの場合：スイッチをオン にした後、[はい] をタップします。
カメラ (複数台選択可※1) の場合：スイッチをオン にした後、[はい] をタップします。

❷ アップグレードファイル名が表示されますので、そのアップグレードファイル名をタップします。

❸ チェック✓が入り「このアップグレードファイルを選択しますか？」と表示されます。[はい] をタップします。
止める時は [取消] をタップして下さい。

❹「アップデート中ですので、モニターの電源を切らないで下さい。」の後再起動します。

❺ **アップグレード後は、「工場出荷時の設定に戻す」の作業を行って下さい。**
メインメニュー　＞　システム設定　＞　工場出荷時に戻す　※USB メモリは再起動後に外して下さい。

※1：同じバージョンのカメラのみ、同時アップデートが可能です。
新しいファームウェアアップグレードファイルが更新された場合、弊社ホームページ https://n-sk.jp/　にてお知らせいたします。
USB メモリー (USB2.0 のみ 32GB まで) にダウンロードし、アップグレードして下さい。
※カメラをリピートしている場合、「アップデート失敗」と表示されアップデート失敗になります。リピートを解除してから行って下さい。
また、カメラの映像が映っていない時は、カメラのアップグレードはできません。

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　カメラ設定

① 変更したいカメラのチャンネルを選択します。

② 選択中のチャンネルが表示されます。

③ 12 文字以内でカメラ名を変更できます (アルファベットと数字のみ)

④ ナイトビジョン設定を変更できます。(自動のままご使用下さい。)
※オフにすると赤外線・センサーライトが点灯しません。手動での ボタン操作は可能です。

⑤ カメラの輝度は、左右の ± をタップして (暗)0 ～ 6(明) より設定できます。(初期値は 3 です。)

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　ディスプレイ

① シーケンシャルの切替時間 (秒) を選択します。

② 分割画面の選択をします。

③ シーケンシャル時、ビデオロスのチャンネルをスキップします。(初期値：オフ)

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　ペアリング＆リピーター　＞　カメラペアリング / ペアリング解除

解除：ペアリングを解除したい場合のみタップします。

ペア：ペアリング設定時にタップします。30 秒以内にカメラ背面のペアリングボタンを長押しするとペアリングすることができます。

カメラペアリングを行います。(参照：P46)

① 未接続のチャンネルの [ペア] をタップします。

② 30 秒以内にカメラ背面のペアボタンを長押しし、大きなビープ音が鳴ったら指を離して下さい。(詳細は P46 へ)

③ ペアリングが成功すると IP、MAC アドレスが表示されます。

←底面から見たところ

④【上へ】　※リピーター設定中は使用できません。

カメラチャンネルの順序を並び変えることができます。

変更したい CH をタップし、▷が表示されたら [上へ] をタップします。指定した CH ナンバーが上に移動します。

変更したい場所まで [上へ] をタップして CH を入れ換えることができます。左上の ホームアイコンをタップして、ライブ画面で確認できます。

⑤【リピーター】 カメラのリピーター機能を使用して、電波距離を延します。

❶リピーターをタップします。

※注意※
リピーター設定をされている場合は、[上へ](チャンネル変更) を使用しないで下さい。カメラペアリングが解除されます。

❷リピートしたいチャンネル
指でチャンネルの後ろに移動します。

チャンネル 2 の後ろにチャンネル 1 を持っていくことも可能です。

❶推奨：親 1 ー子 1

❶推奨：(親 1 ー子 1)x4 家
ABCD 間は 5m 以上あける

リピーター設定後、カメラは自動で再起動します。
電源にはさわらず、そのまましばらくお待ち下さい。

❶推奨：親 1 ー子 1
❷NG：親 1 ー子 1 と子 2

❶推奨：親 1 ー子 1
❸NG：親 1 ー子 1 ー孫 1

[〈] 前の画面に戻るをタップするとリピーター設定が完了します。
※[すべてのリピーター機能を無効にする] をタップすると、リピーター機能が解除されます。

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　フリッカー (初期値：60Hz)

画面にフリッカーが出現した場合に変更すると軽減します。
お住いの地域にあわせて変更して下さい。
※ご使用の地域に適した周波数を選択下さい。
周波数が違ったまま使用すると、器具を傷めたり、十分に性能が発揮できない場合があります。

電源周波数について
50Hz 地域：新潟県（糸魚川以東）、群馬県、山梨県、静岡県（富士川以東）　※長野県の一部市町村を含む
60Hz 地域：富山県、静岡県（富士川以西）　※新潟県糸魚川以西および長野県の一部市町村を含む
お住まいの地域の電源周波数（50Hz ／ 60Hz）がご不明な場合は、
ご契約中の電力会社へお問い合わせいただくか、電力会社のホームページにてご確認下さい。

メインメニュー　＞　記憶とバックアップ

メインメニュー　＞　記憶とバックアップ　＞　スケジュール録画　＞　スケジュール録画設定

初期値は全て常時録画 (緑色) に設定されています。※microSD カード録画の場合、イベント録画をおすすめします。
マーキングを変更してチャンネル毎にスケジュールを作成します。
全てのチャンネルを同じに設定する場合は、コピー先の「 □すべて 」にチェックを入れ [はい] をタップして下さい。
コピー完了と表示されたら、設定完了です。
※常時録画にしておくとイベントラインが常時録画の上に表示されます。注 1
※イベント録画 (黄色) のみにする場合の感度は「最高」をおすすめします。

【イベント録画について】
検知前：3 ～ 5 秒録画
検知後：30 秒 (動作終了後)

注意 1：モーション検知設定の「感度」がオフ、
または「マスクエリアをすべて選択」の場合は、イベント録画されません。

メインメニュー　＞　記憶とバックアップ　＞　オーディオ On/Off　＞　音声録音スイッチのオン / オフ

カメラ録画時の録音をオン (緑色)/ オフから選択できます。

メインメニュー　＞　記憶とバックアップ　＞　バックアップ　＞　USB ドライブへのバックアップ

USB メモリ (USB2.0)32GB までを準備します。※USB2.0 でない USB メモリや microSD カードは使用できません。

① USB メモリを本機に接続します。
② バックアップしたいチャンネルの日時を指定し、[確認] をタップします。
※あらかじめ再生でバックアップしたい日時を決め、メモして下さい。再生からでもバックアップ可能です。
※開始、終了で日をまたぐことはできません。
③ リスト (データがある場合、スクロールで次画面を表示できます。) にチェックを入れると [バックアップ] が表示されます。
④ [バックアップ] をタップします。
⑤ 進捗バーが表示され「バックアップ終了」と表示されましたら [戻る] をタップして終了します。
⑥ USB メモリを外して下さい。
※バックアップデータ (MAINCH0x-202xxxxx-xxxxxx.avi) は、ビューアソフト (WindowsPC のみ) でご覧いただけます。
年月日 - 時分秒

① モーション検知設定したいカメラのチャンネルを選択します。

② 選択中のチャンネルが表示されます。

③ 感度を選択します。

④ マスクエリア (未検知エリア) を設定します。※緑色の部分は検知しません。

⑤ 人検知：人 (人の動きを検出する機能ですが、人に近い形状や動きを持つ物体 (葉や虫など) に反応する場合があります) に検知しますと画面上に▼が表示されます。※先に感度の設定を行って下さい。

④マスク (緑色) 部分は検知されません。

すべて：全てのエリアをマスクします。

全削除：全てのマスクを解除します。(画面はクリア)

※初期は全てのマスクエリアが解除されています。

イベント録画の説明

モーション検知設定の③感度を「高 / 中 / 低」いずれかに設定した場合

人検知設定	検知条件	録画条件	夜間動作 (ﾗｲﾄ設定ｵﾝ時)
オン	人感センサー (熱検知) ＋ 人検知 (人型含む)	両方が反応した場合にのみ検知録画されます。(片方の場合、録画されません。)	両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)
オフ	人感センサー (熱検知) ＋ モーション (動体検知)	両方が反応した場合にのみ検知録画されます。(片方の場合、録画されません。)	両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)

モーション検知設定の③感度を「最高」に設定した場合

●最高　●高　●中　●低　●オフ

人検知設定	検知条件	録画条件	夜間動作 (ﾗｲﾄ設定ｵﾝ時)
オン	人感センサー (熱検知) または 人検知 (人型含む)	どちらかが反応すると検知録画されます。	どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。
オフ	人感センサー (熱検知) または モーション (動体検知)	どちらかが反応すると検知録画されます。	どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。

人感センサー：周囲との温度差で人や物(車の排気ガス等)の動きを感知(夏場は検知しにくくなります。また、冬場は夏場とは逆に敏感に検知する可能性があります。)
人の場合：約3～4m
車の場合：約～10m
人検知(人型含む)：人のような形状や動きを検出する機能(環境によっては、葉や虫などの動きにも反応する場合があります。)

検知時の録画時間

プレレコーディング (before)：検知前約３～５秒

ポストレコーディング (after)：検知終了から約３０秒

メインメニュー　＞　アラート設定

メインメニュー　＞　アラート設定　＞　モニターからの警告音

※スピーカーの音量を 0 以外にすると、警告音とは別にカメラ周辺の音が入り込むことがあります。こちらは本製品の仕様によるもので、故障ではありません。

メインメニュー　＞　アラート設定　＞　モニターからの警告音　＞　②チャンネル設定 On/Off

各カメラの警報音のオン / オフ切換スイッチです。

メインメニュー　＞　アラート設定　＞　モニターからの警告音　＞　③アラートスケジュール

緑色：アラームオフ　　黒色：アラームオン

スケジュール設定を行うと、1 時間単位でアラームのオン / オフが可能です。

メインメニュー　＞　アラート設定　＞　カメラからの警告音

※注意※

警告ライト：赤いランプが点滅します。
警告アラーム：カメラから大音量のブザーが鳴り響きます。
※カメラの警告アラームの音量は、変更できません。

メインメニュー　＞　ライト設定　＞　センサーライト設定

① センサーライト設定したいカメラのチャンネルを選択します。
② 選択中のチャンネルが表示されます。
③ 検知後のライト点灯時間を設定します。※設定した時間で一度消えます。
④ 明るさを選択します。(100% の明かりを直接見ないようご注意下さい。)
⑤ 点灯したい時間帯のスケジュール設定をします。(初期値：全て消灯時刻)

メインメニュー　＞　ライト設定　＞　(センサーライト設定)　＞　⑤点灯スケジュール

マーキングした時間帯は、常時ライト点灯します。
消灯時刻時で暗視時は、検知によりセンサーライトが点灯します。

センサーライトの点灯のしかた

モーション検知設定の感度を「高 / 中 / 低」いずれかに設定した場合

人検知設定	検知条件	録画条件	夜間動作 (ﾗｲﾄ設定ｵﾝ時)
オン	人感センサー (熱検知) ＋ 人検知 (人型含む)	両方が反応した場合にのみ検知録画されます。(片方の場合、録画されません。)	両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)
オフ	人感センサー (熱検知) ＋ モーション (動体検知)	両方が反応した場合にのみ検知録画されます。(片方の場合、録画されません。)	両方が反応した場合にのみライトが点灯します。(片方の場合、光りません。)

モーション検知設定の感度を「最高」に設定した場合

●最高　●高　●中　●低　●オフ

人検知設定	検知条件	録画条件	夜間動作 (ﾗｲﾄ設定ｵﾝ時)
オン	人感センサー (熱検知) または 人検知 (人型含む)	どちらかが反応すると検知録画されます。	どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。
オフ	人感センサー (熱検知) または モーション (動体検知)	どちらかが反応すると検知録画されます。	どちらかが検知するとセンサーライトが点灯します。

人感センサー：周囲との温度差で人や物(車の排気ガス等)の動きを感知(夏場は検出しにくくなります。)
人の場合：約3～4m
車の場合：約～10m
人検知(人型含む)：人のような形状や動きを検出する機能(環境によっては、葉や虫などの動きにも反応する場合があります。)

再生 ▷ 再生ボタン (画面上、モニター上どちらでも可) をタップすると下図の画面に移ります。

ライブ映像時のみ
ボタンは押せます

モニター上部の ▷ 再生ボタン

SEQ
シーケンシャルボタン

再生ボタン

録画無し
(背景無色)

録画有り
(背景緑)

① 現在ペアリングされている全ての接続中のチャンネルに✓が入っています。

② 年月の左右の◁▷をタップすると、年月の変更ができます。

③ その月の日にち (背景緑色) をタップすると、時間帯が表示されます。

④ ご覧になりたい時間帯をタップします。

再生中のアイコンについて

24h 30min 24h or 30min：時間軸をタップし、このマークをタップすると 24 時間表示⇌30 分表示

再生画面は、選択したチャンネル数により、分割画面または単画面になります。
見たい時間帯 (緑色もしくは黄色) をタップします。

分割表示					
選択チャンネル数	1 台	2 台	3,4 台	5,6 台	7,8 台

Backup バックアップ：バックアップ設定の画面 (参照：P37) へ移動します。

早送り

1X：通常再生　**2X**：2 倍速　**4X**：4 倍速　**8X**：8 倍速　**16X**：16 倍速

※ 早送りを戻す場合 x1/2 をタップし、スピードを戻します。

x1/2 スロー再生

1/2X：1/2 倍速　**1/4X**：2 倍速　**1/8X**：1/8 倍速

※ スロー再生を戻す場合 をタップし、スピードを戻します。

カメラの追加 (ペアリング設定) について

メインメニュー ＞ カメラとディスプレイ ＞ ペアリング＆リピーター ＞ カメラペアリング / ペアリング解除
の画面を開きます。

ペアリング済の場合、「解除」と表示されます。

ペアリングされていないチャンネルは、「ペア」と表示されます。

❶ ペアリングしたいチャンネルの ペア ボタンをタップします。

❷ 【図 1】が表示されたら **30 秒以内**にカメラの「ペア」ボタンを長押しして下さい。

❸ 大きなビープ音が鳴ったら指を離してしばらくお待ち下さい。

❹ 【図 1】が消えてペアリングが完了のメッセージが一瞬表示されます。

ペアリング成功。IPC 情報取得。
❹ 戻る

❺ IP・MAC アドレスが表示されれば、ペアリング成功です。

画面が表示されるまで 1 分以上かかる場合があります。タップせずお待ち下さい。

【図 1】

カメラの音声通知が聞こえるまでペアリングボタンを押したままにして下さい

戻る

【図 2】

接続がタイムアウトしました。

キャンセル

30 秒を越えてもペアリングされない時は、「接続がタイムアウトしました。」と表示されます。[キャンセル] をタップしてもう一度ペアリングをやり直して下さい。[ペア] ボタンをタップし、30 秒以内にカメラのペアボタンを押して下さい。(必ずカメラとモニターは 30cm 以内で)

【図 3】

このカメラのペアリングを解除しますか？

はい 取消

[解除] をタップすると【図 3】のメッセージが表示されます。[はい] を選択するとペアリングは簡単に解除されますので、間違えて解除しないようご注意下さい。解除してしまった時は、モニターの 30cm 以内にカメラをご用意の上、ペアリング設定を行って下さい。

ペアリング、リピーターは、設置前に必ずお手元で行って下さい

設置場所での電波確認を行います

①動作確認済のカメラの AC アダプタを一旦コンセントから外します。

②カメラと AC アダプタの接続部を外します。

③カメラを取付位置に持って行きます。

④カメラの AC アダプタを室内 100V コンセントに接続します。

⑤カメラと AC アダプタを接続します。

⑥ビス止め前に必ずモニターの映像と電波状況をご確認下さい。[図 1, 図 3]

カメラペアリング / ペアリング解除 図 2]

の中央を長押しすると、ネットワークサービスの画面上に設置中のカメラの電波状況の数値が (　) 内に表示されます。※例：「CH＃1　(111328,-51)」

「チャンネル番号　(通信データ容量 , 電波状況)」になります。

電波状況の数値が「-60(マイナス 60)」より低い場合は、電波状況が不安定なため、安定した場所にカメラを移動して下さい。 数秒間電波状況の変動をご確認下さい。

例えば、-61：移設をして下さい。　-59：設置をすすめて下さい。

①～⑥の電波確認ができましたら、⑦へ進んで下さい。

⑦設置場所に印を付けます。

※本製品を長くご使用いただくため、軒下での設置をおすすめします。

※電波到達距離の目安は木造家で約 10～20m です。(P2 ～ P15 をよくお読みになって下さい。)

※夜の電波状況は昼より弱くなるため、ご注意下さい。

⑥図 1

ここが高くても図 3 をご確認下さい。

ブラケット背面

壁面に穴をあけない場合は、ブラケットの溝を下に向けてケーブルを通して下さい。

天井に設置する場合は、溝から下方向に垂らして下さい。

P47⑥　電波確認方法

メインメニュー　＞　カメラとディスプレイ　＞　ペアリング＆リピーター　＞　カメラペアリング / ペアリング解除の画面で行います。

カメラペアリング / ペアリング解除の [/] の辺りを長押しするとネットワークサービスが表示されます。

⑥図 2

※数秒間 -60 以上あることをご確認下さい。
×：-61 以下
○：-60 以上

リピーター (子機) は、0 になります。

階をまたぐ設置は、お控え下さい。

1F・2F・3F など、高低差のある階にカメラを設置した場合、電波状態が著しく悪化する恐れがあります。
オプションのカメラアンテナ用 3m ケーブル NS-AD73 を使用するなど、電波を安定させるための対策を行って下さい。

⑥図 3

ここをチェック　ここをチェック

数値は一例です。実際とは異なります。

＜屋外カメラの設置例＞

壁面に設置する場合	門袖等平面に設置する場合	天井に設置する場合
カメラは水平方向より上に向けないで下さい ビス止め 4箇所	カメラは水平方向より上に向けないで下さい ビス止め 4箇所	※アンテナがあるため、上側に向きません。 ビス止め 4箇所

※本製品を屋外で長期間使用される場合、直接日光や雨により劣化しカメラの落下事故につながる可能性がありますので、設置場所は安全な場所を選んで下さい。そしてカメラ設置の定期的な点検をお願いいたします。

必ずお手元で映像の確認をしてから取り付けて下さい

カメラは水平より下方向に向けて下さい

ネジ等で緩めて角度をある程度決めてから設置します

アンテナによって希望の角度にならない場合があります

※本製品を長くご使用いただくため、軒下での設置をおすすめします。

設置される際は、必ずカメラにアンテナを取り付けてご使用下さい。

NS-020WR
カメラ向きの調整方法

https://www.youtube.com/watch?v=d9Eqp-B89TM

カメラ向きの調整方法

動作確認後に設置を行います

1. 設置前に必ずモニターのそばで電源を入れ、映像が正常に映ることを確認して下さい。

2. カメラ本体に付いている 2 箇所の「A:アーム固定ネジ」と「B:ベース固定部」を少し緩め、おおむね形を決めてから、カメラが動かない程度に「B」を軽く締めて設置を始めて下さい。
※角度によってはアンテナにあたり、希望通り動かない場合があります。その場合は、別売の「カメラアンテナ用 3m ケーブル」を使用すると、天井設置の場合でも、ブラケットを 90 度近くまで曲げることが可能です。ケーブルを巻き込まない様ご注意下さい。

3. ご使用上の注意をお読みのうえ、設置場所（上図参照）を決め取付金具を付属の取付金具用ビスで固定します。（設置する材質やビスの長さが付属のビスで合わないときは別途お求め下さい。コンクリート壁面に設置する場合は、コンクリートビスを利用します）

4. コネクター接続部に防水テープ（防水テープは付属していません。）を巻き、水滴が入らない様にして下さい。
※（上図を参照下さい。）

5. 電源ケーブルを屋内のコンセントまで配線して下さい。※（上図を参照下さい。）

6.AC アダプタをコンセント（AC100V）に差し込み、カメラの電源ケーブルと AC アダプタを接続して下さい。
電源ケーブルを加工しての延長はできません。電圧降下の原因によりカメラが正常に稼働しません。
※加工されると保証対象外となります。
※カメラケーブルのコネクターが通せる穴を壁に貫通させたくない場合は、通気口・エアコンダクト周辺の通し穴等を利用する、もしくはサッシやドアの隙間に通すカメラ電源用延長ケーブルをご使用下さい。

7 カメラの撮影方向（カメラの向き）は、「A：アーム固定ネジ」と「B：ベース固定部」を緩め、モニターに映しながら「上下」「左右」「回転」で調整します。（参照：下図・P48 カメラ向きの調整方法）

8. 位置決定後、確実にドライバーでしめつけ固定します。
注 ）カメラ取付時、カメラレンズ周辺に壁や金属物があると、夜間撮影時に赤外線の反射光が映像に映り込む場合があります。映像内に白っぽい影が入る時は、位置を移動して下さい。カメラヘッドを上下左右に回すことで位置が調節できます。（参照：下図・P48 カメラ向きの調整方法）

【ユーザー様以外の方が設置する場合】
カメラ付近の電源ボックスおよび家の中の該当コンセントについて、設置場所と全ての機器の電源プラグの抜き差し方法（参照：P19）を、ユーザー様へご説明下さい。

A：アーム固定ネジ
B：ベース固定部

スマートフォンのアプリ設定　※海外ではご使用いただけません

メインメニュー　＞　システム設定　＞　ネットワーク＆P2P
※Wi-Fi ルーターに登録する方は②無線 LAN を設定して下さい。有線 LAN の方は設定不要です。

アプリで QR コードをスキャンします。

P51④
P52④
の場面で使用します。

UID は第三者に知られないよう、大切に管理して下さい。

① GooglePlay もしくは AppStore より
MiSmartCamera アプリまたは、
piyokame connect アプリをダウンロードして下さい。
※MiSmartCamera は本機 QR コード (上図) からも可能です。

MiSmartCamera　piyokameconnect

アプリの仕様や送信用メールアドレス等予告なく変更する場合がございます。ご了承下さい。

② ダウンロードしたアプリを開きます。　例：iPhone/MiSmartCamera の場合 (OS によって異なる場合があります。)

1.「通知の送信」の許可、「プライバシーポリシー」の同意をして進んで下さい。

2. **初回はユーザー登録が必要です。必ずメール受信可能のメールアドレスでご登録下さい。**

3.system.az@notice.2.ismartlife.me より MiSmart Camera 登録検証コード (6 桁) が登録したメールに届きます。

4. 文字と数字を含めた 6 ～ 20 桁でパスワードを設定します。(ユーザー登録のパスワードです。本機のパスワードではありません。)

5.「ローカルネットワーク ...」の許可をして下さい。

6.「より良いサービスを ...」は、「機能体験アップグレードプラン」を選択して [アプリを開く] をタップして下さい。

7.[確認] をタップして③へ進んで下さい。

MiSmartCamera

④-1 をタップします。QRｺｰﾄﾞ読み取り画面が表示されます。

③マイホーム内の[デバイスの追加]もしくは ＋ をタップします。

④-2
「ネットワーク＆P2P」掲載の UID の QRｺｰﾄﾞをスキャンします。

⑤ デバイスの登録が完了すると、デバイス名を変更できます。
✎ をタップすると画面にデバイス情報が表示されますので、名前①を変更します (任意)。

⑥ 画面下部の [完了]②をタップし、下部の [完了] をタップして終了します。

デバイス共有 (複数人でアプリ確認をしたい) する場合は、弊社ホームページ FAQ3,4 をご覧下さい。
※デバイス共有解除 (メンバー削除) も同様に FAQ5 をご覧下さい。

NS-9320WRMS_FAQ

https://n-sk.jp/pdf_file/NS-9320WRMS_FAQ.pdf

マルチビュー

⑦[チャンネル 1] をタップすると、CH1 カメラの単画面を表示します。
⑧[マルチビュー] をタップすると、分割画面を表示します。

「<、…」がタップで上手く反応しない時は、軽く長押しして下さい。

③ ＋ をタップします。

④[QR コードをスキャン] をタップします。

⑤ デバイスの登録が完了すると、デバイス名を変更できます。
✎ をタップし、名前を変更します (任意)。

⑥ 画面下部の [完了] をタップ終了します。

⑥

マルチビュー

⑦[Channel X] をタップすると、各カメラの単画面を表示します。

⑧[マルチビュー] をタップすると、分割画面を表示します。

メッセージ：検知履歴へ

ライブ画面へ

HD/SD
選択

スピーカー

フルスクリーン (縦)

その他設定

録画 (ライブ映像を端末に録画)

マイク (長押し)

スクリーン
ショット

フルスクリーン (横)

この画面の [メッセージ] は、検知通知です。
タップすると、モーションの画面へ移動します。

本日

本日

[クリックして表示] をタップすると、検知時の録画映像が再生されます。

全てのカテゴリ

全てのカテゴリ

時間帯間隔を
60/10/5/1 分より選択
できます。

スクリーン
ショット

スピーカー

フルスクリーン

録画
(再生の録画)

画面タップをするとアイコンが表示されます

再生：再生画面へ

[再生] をタップします。

本日の左側 [＜] をタップすると、過去の映像 (1 日単位) に移動します。

設定：各種設定へ

[設定] をタップします。

「デバイス情報」、「基本機能の設定」、「ホーム画面に追加」、「デバイスを削除」の項目が表示されます。

「デバイス情報」：デバイス ID をコピーします。

「基本機能の設定」：(片方向 / 双方向) 通話を変更できます。(下図参照)

「ホーム画面に追加」：ホーム画面にデバイス (カメラ) をアップできます。
※更新されると映像確認ができなくなる場合があります。

「デバイスを削除」：アプリからこのデバイスを削除します。

「基本機能の設定」

その他：メニュー画面へ

[その他] をタップします。

◆[メッセージ (その他)] をタップすると、通知履歴でスクリーンショットを確認できます。

※動画は見ることができません。

◆[機能 (その他)] をタップすると、以下のメニューが表示されます。

❶リプレイ：再生画面に移動します。

❷アルバム：スクリーンショットやアプリから録画した映像を見ることができます。

❸テーマカラー：アプリのカラーを (ライトモード / ダークモード) より変更できます。

❹灯：[スイッチ] をタップすることにより、手動でデバイス (カメラ) のライトの点灯 / 消灯ができます。

❺編集：使用できません。

マルチビュー：メニュー画面へ

検知リストとプッシュ通知について 1/2

①ホーム画面です。

②プロフィールをタップします。

③メッセージセンターをタップします。

検知リストとプッシュ通知について 2/2

④検知リストが表示され、タップすると再生が可能です。

⑤設定ボタンをタップすると、メニューが表示されます。

⑥プッシュ通知の設定ができます。

⑦プッシュ通知は有効になっています。不要な方は無効にして下さい。

⑧検知すると通知が届きます。（スマートフォンの設定により異なります。）

デバイス削除方法（共有中は削除しないで下さい）

デバイスを長押しします。
次の画面の右下にゴミ箱が出てきます。
ゴミ箱をタップ、OK をタップすると削除ができます。

サポートについて

マニュアル、FAQ など：

1. こちらの URL からお問い合わせ下さい：https://n-sk.jp/contact
2. メールでのお問い合わせ：hp@nsk-sec.co.jp

お問い合わせはこちらになります
https://n-sk.jp/contact
hp@nsk-sec.co.jp

オールカラーの取扱説明書はこちら
https://n-sk.jp/consumer/document/

FAQ
困ったときはこちら

NS-9320WRMS
ワイヤレスカメラセット

■特徴
・タッチパネル

■仕様

項目	仕様内容
モデル	**NS-93WRM**
オペレーティング・システム	Linux
液晶パネル	10.1 インチ TFT 液晶
解像度	1280*800
操作方法	静電容量式タッチスクリーン、マウス (外部モニター接続時)
チャンネル	最大 8 台
ストレージ	M.2 SSD(SSDx1：最大 2TB)、microSD カード (microSD カード x 1：最大 256GB
USB インターフェース	USB 2.0 × 1
HDMI	HDMI 出力 ×1
アプリ	MiSmartCamera、piyokameconnect
ネットワークインターフェース	1 RJ-45 10/100M
電源	DC 5V 2A
消費電力	10W 未満
動作温度	-10 ℃ ～ 55 ℃
動作湿度	10% ～ 90%
寸法	265mm×158(298 アンテナ含む)mm×32mm
素材	ABS

■寸法 (単位㎜)

仕様及び外観は改良のため予告なく変更される事がありますのであらかじめご了承下さい

NS-9320WRMS_260119

NS-9320WRMS
ワイヤレスカメラセット

■特徴
・センサーライト

■仕様

項目	仕様内容
モデル	**NS-020WR**
オペレーティング・システム	Linux
イメージセンサー	3MP カラー CMOS センサー　1/2.8 インチ
ビデオ解像度	メインストリーム : 2304*1296
画角	水平 : 107°, 垂直 : 58°, 対角 : 125°
画像検出	動体 (モーション) 検知、人体検知、人感 (熱感) センサーをサポート
電源	DC12V 1A
消費電力	最大 5.4W
動作温度	-20 ℃ ～ 55 ℃
動作湿度	10% ～ 90%
防水防塵性能	IP65 ※
寸法	212mm×100mm ×81mm
素材	アルミニウム + ABS

※雨ざらし不可

■寸法 (単位㎜)

仕様及び外観は改良のため予告なく変更される事がありますのであらかじめご了承下さい

保証規定はこちら

必ずお読み下さい

保 証 書

本紙は記載内容の範囲で無償修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合、お買い上げの販売店又は弊社支店・営業所に修理を依頼して下さい。
●シリアルナンバーが不明な場合は、有償修理とさせていただきます。

この保証書は記載内容の範囲で無償修理をお約束するものであり、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

■ 無償修理規定

1. 保証期間はご購入日より 1 年間です。※1
2. 保証規定に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合は、無償で修理・調整いたします。
3. 保証期間中であっても以下の場合は有償修理となります。
   - ・お客様側での移動時の衝撃等が原因の故障
   - ・工事、使用上の誤り、不当な改造による故障
   - ・火災、水害、雷等天災、その他自然災害、異常電圧による故障
   - ・本製品に接続された他社製品が原因の故障
   - ・消耗品、付属品に起因する故障
   - ・保証規定の禁止事項に該当する使用状況の場合
4. 製品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いません。
5. 本保証書は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
6. 弊社は出張修理を行なっておりません。持込・配送修理のみ対応しております。
7. 保証内容は製品に対するものとなります。故障時の取り外し取り付け費用、施工店様の出張費用、特殊車両費用に対し弊社は一切の費用請求を認めません。
8. 弊社に修理依頼品をご送付いただく際の送料は、お客様にてご負担願います。

型番	NS-9320WRMS ※ご購入製品の型番に☑をつけて下さい。
お客様名	
ご住所	
電話番号	
シリアルナンバー※2	※シリアルナンバーはご使用前に必ず記入して下さい。
取扱販売店名	
設置日	年　月　日
保証期間	ご購入日より 1 年間※1 ※本書はレシートと一緒に大切に保管して下さい。

※1 消耗品も無償修理期間は、1 年間となります。
※2 出荷時に弊社でシリアルナンバーを登録することで、保証期間を管理しています。

株式会社 NSK　日本セキュリティー機器販売
〒461-0043 愛知県名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15
Email. hp@nsk-sec.co.jp　HP. https://www.n-sk.jp

■免責事項

●本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いません。
●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
●お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
●製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証いたしません。
※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.